



## 【シリーズ】心理的安全性のつくりかた④

- ✓ 今回は、心理的“非”安全性を解消し、より高めるキードライバーとなる4つの因子について解説します。
- ✓ 4つの因子として、「①話しやすさ」「②助け合い」「③挑戦」「④新奇歓迎」があり、この因子が備わっている組織が、心理的安全性が感じられる組織と言われております。
- ✓ 「①話しやすさ」とは、ほかの三つの因子の土台となる、最も重要な因子といえます。問題やリスクに気づいた瞬間に声を上げられる、知らないこと・分からないことがある時にフラットに尋ねられる、などネガティブ案件も共有しあえる組織は、「話しやすさ」因子が高いといえるでしょう。
- ✓ 「②助け合い」は、トラブルが発生した時や、通常よりも高いアウトプットを目指す時に重要な因子です。問題が起きた時に建設的に解決策を考える雰囲気になっている、リーダーやメンバーがいつでも相談にのってくれる、など良い相互作用で出来るチームは、「助け合い」因子が高い組織といえます。
- ✓ 「③挑戦」とは、時代の変化に合わせて新しいことを模索し、変化にチャレンジする際に重要な因子です。失敗をあげつらうのでは、思考錯誤からの学びと改善へつなげる風土がある、などチームで模索・試行錯誤ができる組織は「挑戦」因子が高いといえるでしょう。
- ✓ 「④新奇歓迎」は、一人ひとりが多様な価値観から社会・業界の変化を捉えて対応する際に、重要な因子です。メンバーが自分らしさを発揮できる、多様な意見に耳を傾けられる、など一人ひとりがボトムアップに才能を輝かせられる組織が、「新奇歓迎」因子が高い組織となります。
- ✓ この4つの因子の頭文字の「話・助・挑・新」が備わっている組織が、心理的安全性の高い組織といえるでしょう。この心理的安全性のシリーズ投稿の文末には、この四つの因子の頭文字を合言葉を、毎回記載しております。



※書籍『心理的安全性のつくりかた、石井遼介著』より引用させていただきました。書籍は、組合事務所で貸し出し中です。



“最高のチーム”は「話・助・挑・新」！